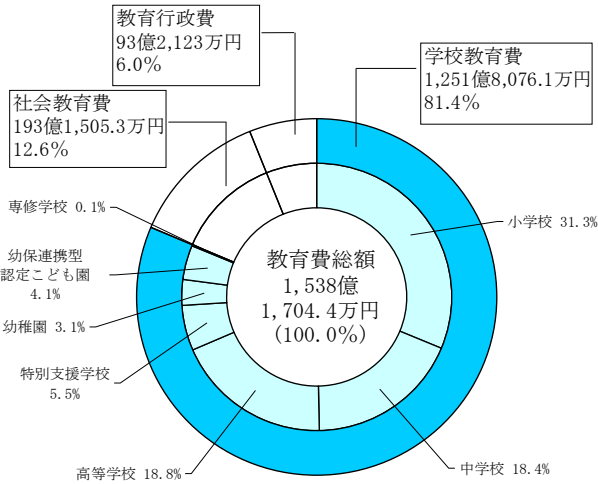


令和4年度 地方教育費調査

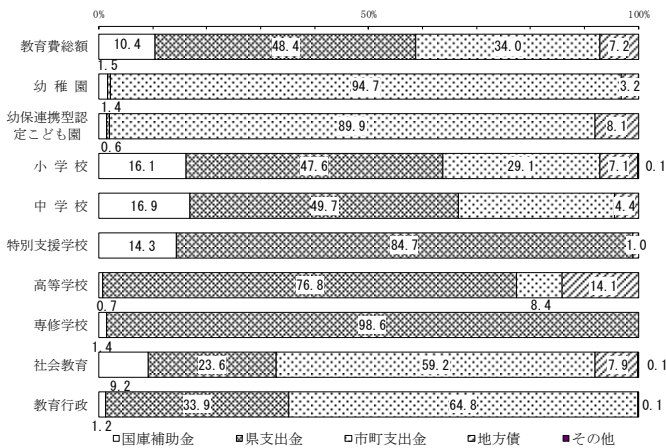
調査結果の概要

【教育費総額】



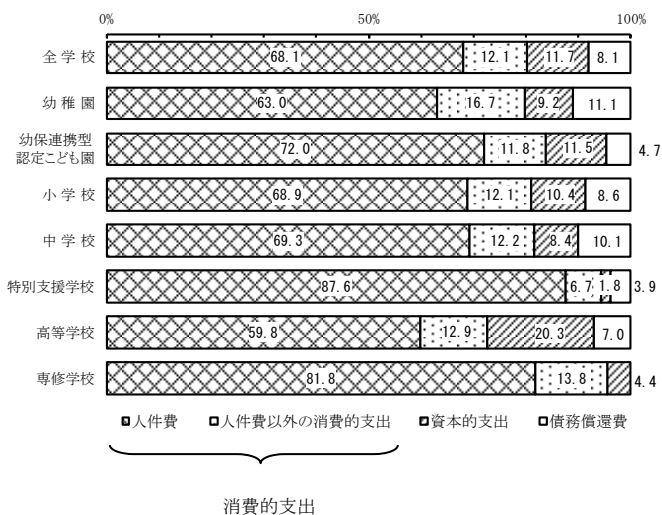
- ① 教育費総額は、前年度より70億5,423.2万円増加し、1,538億1,704.4万円となっている。
- ② 教育分野別では、学校教育費が1,251億8,076.1万円と全体の81.4%を占め、社会教育費は193億1,505.3万円と12.6%、教育行政費は93億2,123万円と6.0%の順となっている。
前年度の割合と比べると、学校教育費が2.8ポイント低下、社会教育費が3.0ポイント上昇、教育行政費は0.2ポイント低下している。

【教育費の財源内訳】



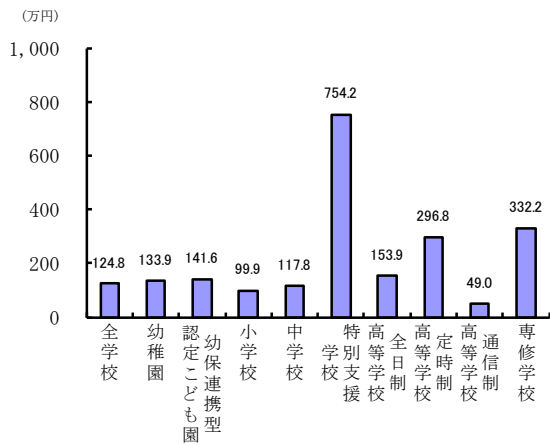
- ① 教育費総額を財源別にみると、国庫補助金が10.4%、県支出金が48.4%、市町支支出金が34.0%、地方債が7.2%となっている。
- ② 学校種別にみると、前年度に比べ、幼保連携型認定こども園、小学校、高等学校で地方債の割合が増加している。
- ③ 社会教育費は県支出金の割合が増加している。

【学校教育費の支出項目別内訳】



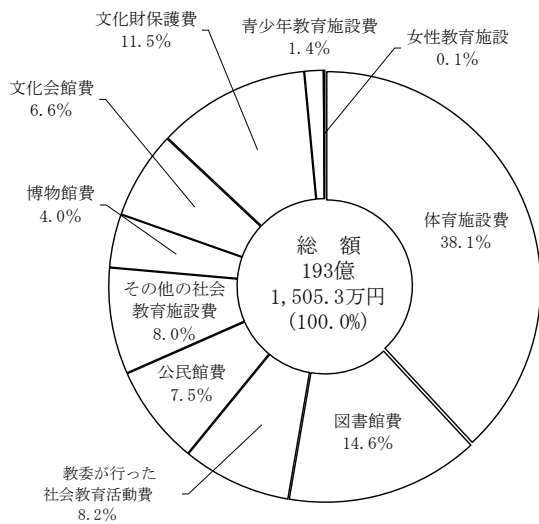
- ① 学校教育費は、前年度より15億5,987.3万円増加し、1,251億8,076.1万円となっている。
- ② 支出項目別に見ると、学校全体では、消費的支出が1,003億1,547.9万円と80.2%を占め、資本的支出が146億8,016.5万円と11.7%、債務償還費が101億8,511.7万円と8.1%となっている。
- ③ 学校種類別にみると、前年度に比べて幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校は減少し、幼保連携型認定こども園、高等学校では増加している。また、高等学校では資本的支出の割合が大幅に増加している。

【在学者1人あたり学校教育費】



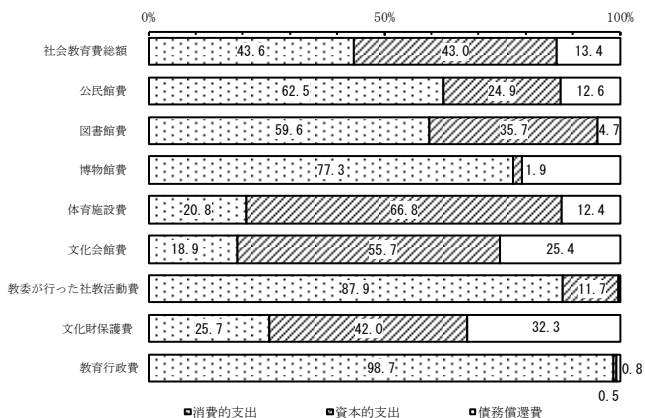
- ① 在学者一人当たりの学校教育費は全学校で124万8,375円となり、前年度より3万2,041円増加している。
- ② 学校種類別にみると、前年度と比べ、幼稚園が6.8%、幼保連携型認定こども園が14.5%、高等学校が17.2%増加している。また、小学校が2.6%、中学校が1.6%、特別支援学校が6.5%、専修学校が6.6%減少している。

【社会教育費の支出分野内訳】



- ① 社会教育費は、193億1,505.3万円で、前年度より52億7,570.4万円増加している。
- ② 支出分野別では、体育施設費38.1%、図書館費が14.6%、文化財保護費が11.5%の順となっている。前年度と比べると、図書館費が7億9,850.4万円、博物館費が3,157.2万円、体育施設費が34億3,165.7万円、女性教育施設が71.4万円、文化会館費が6億2,777.7万円、教委が行った社会教育活動費が1億6,217.8万円、文化財保護費が4億859.5万円それぞれ増加し、公民館費が1億10.6万円、青少年教育施設費が377.9万円、その他の社会教育施設費が8,140.8万円それぞれ減少している。

【社会教育費・教育行政費の支出項目別内訳(抜粋)】



- ③ 支出項目別にみると、社会教育費総額では、消費的支出が43.6%、資本的支出が43.0%、債務償還費が13.4%となっている。
- ④ 県民一人当たりの社会教育費は、県人口総計で2万18円である。前年度と比べ、5,603円増加している。
- ⑤ 教育行政費は、93億2,123万円で、前年度より2億1,865.5万円増加している。
- ⑥ 県民一人当たりの教育行政費は、県人口総計で9,660円である。前年度と比べ、314円増加している。